

てんとう虫の贈り物

株式会社 日立システムズフィールドサービス
支社統括本部 東日本支社
関東支店 関東第1 サービス部
北関東サービスグループ 宇都宮営業所

人 見 康 隆

能登の震災で被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

『ウイン、ウイン、ウイン』

例のけたたましい携帯電話から緊急地震速報である。ぐらん。ぐらん。

揺れの長さでこれがただ事でないことがわかる。私達はこの長さの揺れを過去に経験したことがある。(これはまずい。出よう)。

私は仕掛中の手を止め、進捗がわかるよう資料にチェック入れて出口へ足を進めた。

2024年1月1日あの日あの瞬間、私はお客様先のマシン室で作業中であった。

私は巡回のカスタマエンジニアである。

出入り口の扉につく頃、揺れが止んだ。

館内放送が流れる。『ただ今北陸地方で地震がありました。栃木県は震度3で当館に影響はありません』。すると、お客様から電話だ。

「人見さん無事ですか」

「こちらは大丈夫です。揺れもおさまり、センターへの影響ありません！！」戻ろう。作業へ。

年に1度のお正月の定期メンテナンス中である。ハードウェア制御プログラムバージョンアップでDVDを読み取らせていたところだ。机に戻りチェック個所を確認した。

『ゴクリ』私は顔が青ざめるのを感じた。

DVDファイルのダウンロード画面、進行カーソルが止まっている。恐る恐るマウス、

キーボードに触るも反応がない。これはまずい。

私は腕時計を確認した。業務開始の引き渡し時間が迫っている。どうする！？。心臓の動きが激しくなっていく。携帯を鳴らした。

祈る気持ちで指示書のトラブル時窓口へ。
(お正月だが頼む出てくれ。)

出た。すんなり。そして指示も明快だった。

まず端末は再起動する。加えてシステム上DVDドライブが2つ付いているタイプのため2つ目を活用する。最後にDVD媒体についても正副2枚あるため副媒体へ交換だった。

私はすぐに実行に移った。上長連絡を済ませて。まず端末の再起動を開始。再起動中に副媒体を取りにC Eルームへ。マシン室から出る際に靴を履き替える。ロッカーで静電靴を履き替えていると目の前に何かが通り過ぎるのを感じ瞬きした。何もなかった。少し疲れているな。焦りもある。落ち着かなくては。

副媒体を持って戻る。端末の再起動が完了していた。私は頭を整理し深呼吸した。

副媒体で2つ目のドライブを使って。

『よし、やるぞ！』

チェックシートを頭からなぞる。

ボールペンが急に書けなくなった。こんな時に限ってインク切れた。

引き渡し時間が脳裏をよぎる。私は筆箱に

替えの芯を入れているのでさっと交換を済ませた。あ！？だめだ！！

チェックシートに戻るも交換した替え芯がすぐに書けなくなってしまった。くそっ。相当焦っていたのであろう。やっと色を変えたことに思い当たった。私のペンは4色シャープだ。

そうこうしているうちに、今度はDVDの動きが止まってしまった。ああっ！！

それは正常なコピーの完了であった。

『よし！』データのハードディスク書込みも終わった。無事バージョンアップ完了を確認した。指示元への連絡も済んだ。テストプログラムでハードウェアの正常性も確認できた。

リセットを済ませこれで引き渡せる。

時計を見るとリミット直前だった。

無事引き渡しも完了した。『間に合った！』

私は安堵でペタンと座り込んだ。お正月でひんやりの無人のマシン室に。顔いっぱい吹き出る汗を清掃用ガーゼで拭いながら。

原因は地震の揺れでは無くDVDのドライブか媒体であろうと結論付いた。引き上げだ。

例の下駄箱で静電靴を履き替えると黒い丸い物が落ちていた。何かと思えばてんとう虫であった。ありがたいの思いと共に、メモ帳の上に乘せた。

守衛さんに新年と退館の挨拶をし、名簿にサインを試みるが書けない。「あ、替え芯がだめだった」「よくありますよ。ワハハ」

外に出ると火照った体が一気に冷えた。

私はてんとう虫をそっと垣根に返した。

感謝とよい一年になるよう祈願を込めて。

私は、いや私達は爪を研ぐ。日本の社会、いや世界の今と明日を支えるために。今は能登の支援を念頭に置きながら。